

# 水道水中の放射性物質

飲用水(水道水)環境放射能測定結果(暫定値)(第1131報)

モニタリング4(飲用水)

平成26年7月16日現在

採取期間	測定した 飲用水の量 (kg)	測定結果		
		放射性セシウム		その他の 人工放射性核種 (Bq/kg)
		セシウム134 (Bq/kg)	セシウム137 (Bq/kg)	
4月1日～4月30日	31.5	ND	ND	ND
5月1日～5月31日	30.0	ND	0.0016	ND
6月2日～6月30日	31.5	ND	0.0024	ND

ND: 検出限界値未満

## 【測定結果】

平成26年6月分の測定結果は、飲用水の基準(放射性セシウム 10Bq/kg)を下回っています。

- ・セシウム134の検出限界値: 0.0012 Bq/kg
- ・セシウム137の検出限界値: 0.00077 Bq/kg

## 【測定方法】

平成26年度から、国の総合モニタリング計画に基づき、分析精度をより高めるため、1日1.5kgの飲用水(蛇口水)を採取し、1ヵ月分をまとめて蒸発・濃縮した後、その残留物を測定しています。

※平成25年度までは、毎日2kgの飲用水を採取し、濃縮せずに測定。

(検出限界値: セシウム134、137ともに約0.7Bq/kg)。

## 【その他】

- 1 採取場所…福島県原子力センター福島支所(福島市方木田地内)
- 2 測定機関…福島県原子力センター
- 3 分析装置…ゲルマニウム半導体検出器

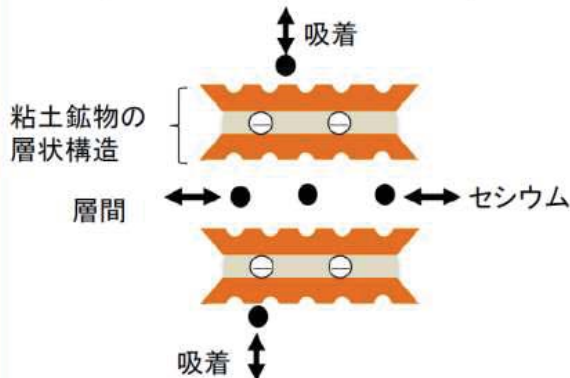
飲料水については、平成23年4月11日以降、平成26年4月4日まで、全て不検出(ND)。平成26年度以降、分析精度が約100倍となる(放射性セシウムの検出下限値が、従来の0.7Bq/Lと比べ約2桁小さくなる)。

# セシウムは粘土質に吸着・固定される

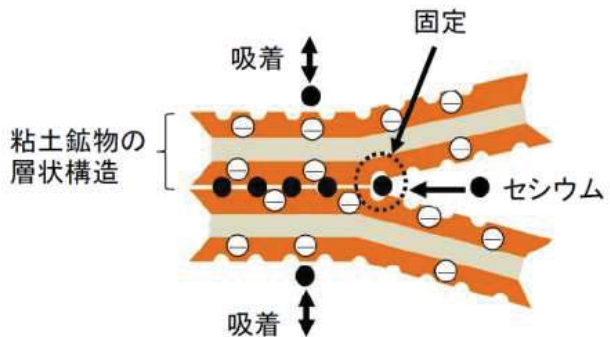
## セシウムの吸着・固定力

図 14

セシウムをあまり固定しない粘土鉱物の例(モンモリロナイトなど)



セシウムを固定する能力の高い粘土鉱物の例(パーミキュライト、イライトなど)



## 【解説】

- ・粘土鉱物は、表面に負の電荷を持ち、セシウムを「吸着」することができるほか、一部の粘土鉱物は時間の経過とともにセシウムを内部に取り込んで「固定」する能力を持つ。
- ・「吸着」されたセシウムは、植物が吸収することができるが、一旦、「固定」されると吸収することが難しくなる。